



国際交流ひろば

7
月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL 222/ July 2019

海外で学ぶ・働く・生活を体験してみませんか？

留学・ワーキングホリデー (英語圏) セミナー

英語圏への留学・ワーキングホリデーを考えていらっしゃる方、またその保護者の方を対象に、「手続き」「費用」「外国へ持って行くもの」など、留学・ワーキングホリデーに関する基本的な情報をお伝えします。

[日時] 令和元年8月4日(日) 13:00~16:00(受付)12:30~

[会場] かごしま県民交流センター 東棟3階 中研修室第2

[講師] (社)日本ワーキングホリデー協会職員

[定員] 50名(要申込・先着順) ※定員に達し次第、受付終了

[内容] 留学・ワーキングホリデーについての情報紹介・経験者による体験談
経験者を交えて座談会

参加費

無料

申込方法

①氏名 ②電話番号 ③年齢 ④メールアドレス ⑤渡航希望国をご記入の上、
FAX, メール, ハガキにてお送りください。または、直接協会にお申込みください。

主催: (公財)鹿児島県国際交流協会 (社)日本ワーキングホリデー協会

お申込み
お問い合わせ

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会 (担当: 西田)

TEL 099-221-6620 FAX 099-221-6643

MAIL kia6@kiaweb.or.jp



おやっとなさあ！国際交流員です！

中国出身 王 傑傑(おう・けつけつ)



鹿児島県での初登山

大家好！皆さんこんにちは！中国から参りました王 傑傑と申します。よろしくお願い致します。

先日、家の近くを散策していると、鹿児島大学の登山イベントの掲示板が、ふと目に入りました。掲示板にあったメールアドレスに、鹿大生ではないことなどを説明した参加申し込みのメールを送信し、ときどきしながら返事を待ちました。すると、「私たちも中国人の方と仲良くなりたいです」という担当者からの友好的な返信が届き、とても嬉しく感じました。



日本での登山の経験はありますが、見知らぬ人たちと登るのは初めてで、登山の前夜は期待と緊張の気持ちが入り混じり、遅くまで眠れませんでした。

さて、いよいよ登山当日の朝、10人の参加者が待ち合わせの場所に集合し、キャプテンのYさんが、1日のスケジュールや注意事項などについて説明してくれました。その後、車で山道を一時間半ほど走り、目的地の金峰山に到着しました。登山口でペアを組み、それぞれが役割分担を決めて、いざ出発！山道は落ち葉と枯れた枝ばかりか、苔も生えていて滑りやすかったため、とても登りづらく感じました。と、その時です。「蛇だ！」シーンとした

山中に、不意に叫び声が響き渡り、蛇が苦手な私は、急に登る気が失せてしまいました。そんな「やっせんぼう」の私ですが、自分だけが途中で止めるわけにはいかないという気持ちになり、早く頂上に到着することだけを願っていました。幸い、Yさんがずっと私の前で先導してくれたおかげで、ずいぶん心強かったことをよく覚えています。そして、ついに頂上に辿り着いた時、「いわさかに ひもろきたてし 母思ふ」という句が刻まれた石碑が目に入りました。その日は偶然、「母の日」でした。母の日にたまたま登山をし、母を思ふ句を目にした私の脳裏に浮かんだのは、中国の詩人、王維の「独在异乡为异客，每逢佳节倍思亲」（独り異郷に在りて異客と為る。佳節に逢ふ毎に倍親を思ふ）という詩でした。急に故郷のことを思い出し寂しくなった私は、しばらく黙りこんでしまいました。すると、「ここ暑いから、行こうよ。下でご飯を食べよう」と、故郷に思いを馳せ、ホームシックになって自分の世界に入り込んでしまった私を、同行のひとりが呼びに来てくれたのです。その時、初対面の私を、すぐに仲間として受け入れてくれた皆さんのあたたかさが伝わってきて寂しさも吹き飛び、何とも言えない感動で胸が一杯になりました。帰りの車の中で私は、その時の気持ちを一句にまとめてみました。「山里に 心が一つ 国問わず」。



初めての鹿児島での登山は、国籍を問わず新しい仲間と心を通わせることができた、とても有意義な経験となりました。



募集期間 6/7(金)~9/11(水)

**応募者全員へ
参加賞あります**

【JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2019】

中高生を対象に毎年開催している当コンテスト。昨年も多くの応募をいただきました。(2018年度応募数 中学校 877校 高校 357校) 今年度のテーマは『よりよい世界の未来を目指して～私たちから始まる一歩～』です。このコンテストを通じて開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、どう行動すべきか考えるきっかけとして活用いただいています。毎年、夏休みに開催している鹿児島県青少年国際協力体験事業で、昨年スリランカに派遣された中高生の団員も、このコンテストに応募しています。

『言葉にすれば、世界を動かす力になる』を合言葉に皆さんも応募してみませんか。

応募詳細はコチラ 検索

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>



【JICA 青年海外協力隊経験者に聞いてみた！ナミビア×小学校教諭】

鹿児島県国際交流協会では交流相談員を務める新井博美さん。ナミビアで小学校教諭として青年海外協力隊経験のある彼女にナミビアでの生活について聞いてみました。



【ナミビア共和国の国旗】

Q. 暑いですか？

A. ほぼ40度越えて暑いですが、日本と違って湿度が低いので汗をあまりかかないので不快な暑さではないです。

手洗いして脱水していないジーンズが2~3時間で乾きます。

Q. 現地で恋しかった日本のものは？

A. 納豆。納豆菌を日本から持参して作っている隊員もいましたが、気候が違うため難しかったようです。

Q. 現地でのエピソードを聞かせてください。

A. アフリカでよく見られる光景ですが、バスやタクシーは乗り合いです。バスは満車にならないと出発しません。そこで出会う人々とは、食べ物を分け合ったり話をしたり。私はジンバブエ人の友人ができました。

Q. JICA 海外協力隊について一言。

A. 色々な価値観を持つ人々と出会い、人とのつながりによって人生観が変わり、自分を大きく成長させてくれる2年間は貴重です。

<問合せ先> JICA デスク鹿児島
国際協力推進員 外西 (ほかにし)
TEL 099-221-6624
Email jicadpd-desk-kagoshimaken@jica.go.jp

民間国際交流活動助成金交付

下期申請受付開始

(公財)鹿児島県国際交流協会では、県内に在籍する民間団体が実施する国際交流・国際協力・国際理解活動に対し、旅費を除く直接経費の2分の1以内(但し、上限額30万円)を審査会の審査を経て助成する支援事業を行っています。

- 令和元年度下期(令和元年10月～令和2年3月)実施事業を対象に申請を受け付けます。申請受付は、令和元年7月1日から令和元年8月31日までです。
- 営利を目的とする事業は、対象にはなりません。
- ホームページで、助成金の交付対象となる団体や事業についてご案内しています。

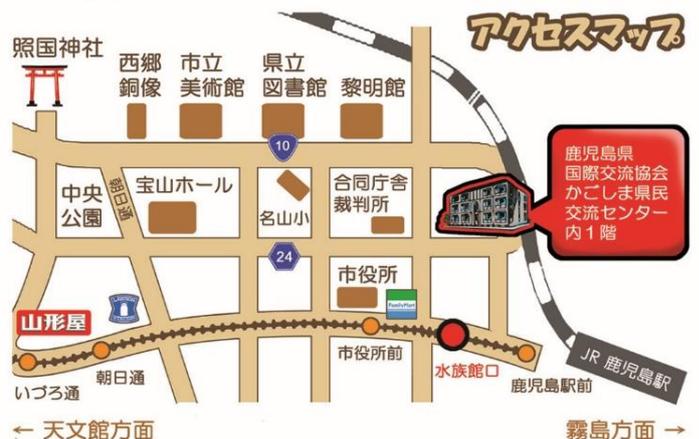
<https://www.kiaweb.or.jp/>

【問合わせ】(公財)鹿児島県国際交流協会(担当:大井)

TEL :099-221-6620 FAX :099-221-6643 E-mail:kia11@kiaweb.or.jp

そうだんまどぐち ごあんない 相談窓口のご案内

日本の生活で分からないことや困っていることはありませんか。あなたの問題を解決するお手伝いをします。相談にはお金はいりません。英語・中国語・韓国語が分かるスタッフがいます。電話やメールや協会でも相談できます。協会に来るときはいつ来るか連絡してください。スタッフがいないときもあります。あなたの秘密は人に話しません。いつでも連絡をください。



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにて毎月掲載しています。ご自由にダウンロードください。